

(憲法共同センター) 2018年7月 憲法宣伝スポット (参考例)

皆さん、こんにちは。

私たちは、労働組合や女性・業者・農民・青年・弁護士・医療団体などが力をあわせて、憲法のじゅうりんを許さず、憲法を守り、生かそうととりくんでいる、「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。

この間、森友・加計疑惑について、安倍首相夫妻の関与がますます明らかになってきました。にもかかわらず、安倍政権は、その責任を官僚に押し付け、疑惑追及からの逃げ切りを図っています。そして、安倍首相のウソをかばうために、閣僚や官僚が、ウソにウソを塗り重ねています。このような「ウソがまかり通る政治」は、国民をないがしろにする政治です。「ウソの政治」は、この国の民主主義を土台から崩してしまいます。

森友・加計疑惑のみならず、自衛隊の日報隠蔽、裁量労働制をめぐる厚労省のデータねつ造問題は、安倍政権の権力私物化と腐敗ぶりを端的に示しています。

その一方で、安倍政権は、労働時間規制を取り払い、過労死を推進する高度プロフェッショナル制度の導入などを内容とする「働き方改革」一括法案を強行成立させました。また、多数の反対の声を無視して、カジノ実施法案、TPP11関連法案を強行成立させようとしています。国民生活よりも大企業とアメリカの利益を優先させる安倍政権をこれ以上続けさせるわけにはいきません。

「このままでは日本が崩れてしまう」と思っておられる方、多くいらっしゃるのではないのでしょうか。安倍政権の退陣を求める声をあげていきましょう。

みなさん、世界は大きく動いています。6月12日、史上初の米朝首脳会談が開催され、朝鮮半島の非核化と平和への大きな一歩が刻まれました。いま、日本政府に求められるのは、憲法9条を生かして、朝鮮半島と北東アジアの非核化と平和を実現する先頭に立つことではないのでしょうか。

そのためにも、安倍首相が狙っている9条改憲を絶対に止めなければなりません。全国市民アクションが呼びかけている「安倍政権による9条改憲に反対する署名」は、いま、1500万人を超え、広がり続けています。さらに、3000万人の署名を集めて、改憲をストップさせましょう。皆様のご協力をお願いします。

朝鮮半島と北東アジアの非核化と平和を実現するためには、昨年、国連で成立した核兵器禁止条約を日本政府に調印させることは焦眉の課題です。また、安倍政権が、県民の総意を踏みにじて強行している辺野古新基地建設を直ちに中止させましょう。青く美しい沖縄・辺野古の海に、海外の戦争への出撃基地などいりません。

この間、安倍9条改憲反対など多くの課題で、野党と市民の共同が発展し、安倍政権を追い詰めてきました。野党共闘をさらに発展させて、悪政に対抗する大きな力とするために、私たち市民の運動を強めることが鍵です。市民と野党の共闘を推し進めて、安倍政権の退陣を実現するために、ご一緒に声を上げましょう。以上